

## 重篤症例の概要

※死亡症例については、資料 1 - 6 参照

### (症例 1) アナフィラキシー (軽快)

30代 女性

既往歴：さばアレルギー

経過： 接種 10~15 分後、全身痒み、咳

30 分後 呼吸困難、血圧低下、悪寒あり

エピネフリン、ステロイド、アミノフィリン、酸素投与

当日中に軽快

因果関係：否定できない

### (症例 2) 吐気 (軽快)

20代 女性

既往歴：アセチルサリチル酸・ダイアルミネートで薬疹

経過： 接種直後より吐気出現

歩行困難となり安静にて加療

24 時間後、軽快

因果関係：否定できない

### (症例 3) アナフィラキシー (回復)

40代 女性

既往歴：蕁麻疹

経過： ワクチン接種後、全身の皮疹、呼吸苦出現、入院

ステロイド点滴、補液、抗アレルギー剤内服により症状軽減したため、翌日退院

因果関係：否定できない

### (症例 4) アナフィラキシー (軽快)

60代 女性

既往歴：ペンタゾシン、ブチルスコポラミン臭化物、インドメタシンナトリウムで発疹、

ショック症状、呼吸苦

経過： ワクチン接種 1 時間後より、全身性蕁麻疹出現 (ショック症状はなし)。

翌日、立ちくらみ、食思不振を認め、入院。翌々日、退院。

因果関係：否定できない

### (症例 5) 39℃以上の発熱 (回復)

20代 女性

既往歴：アモキシシリン、コーヒー、チョコレートで蕁麻疹

経過：本ワクチン接種より15日前に季節性インフルエンザワクチン接種

本ワクチン接種後、一過性に吐気が生じたが自然消失。

翌日、吐気、関節痛、37°Cの発熱があり、アセトアミノフェン、メトクロプラミドの内服薬処方。接種2日後悪寒、戦慄が生じ、40.2°Cまで発熱。白血球7100/ml（好中球91%）、CRP2.72mg/dl、尿（潜血（2+）、蛋白（1+）、白血球（±））。補液とアセトアミノフェンのみで、3日後に37.8°C、4日後に36.2°Cに解熱し、症状消失。なお、インフルエンザ簡易検査でA(-)、B(-)。血液培養陰性、尿培養は少量のグラム陽性球菌のみのため、尿路感染症は否定的。

因果関係：否定できない

#### （症例6）発熱、発疹、肝機能異常（軽快）

30代 女性

既往歴：精神科通院中（バルプロ酸ナトリウム、クロミプラミン塩酸塩、ミアンセリン塩酸塩、ゾルピデム酒石酸塩服用中。二回の入院歴有り）

経過：ワクチン接種6日前に38°Cの発熱、頭痛、鼻水、痰あり。受診しクラリスロマイシン、カルボシステイン、ロラタジンの処方を受ける。鼻水、咳、痰軽度、体温35.8°Cある状態で、ワクチン接種。ワクチン接種約2時間後より、後頸部から頭にかけて痛みがあり、次第に悪化。体温38.2°C~39°C。翌日、医療機関を受診し、クリンダマイシン点滴、クラリスロマイシン経口投与。解熱剤、鎮痙剤の処方を受ける。その2日後、医療機関を受診し、検査にてGOT 653、GPT 291にて入院。

因果関係：否定できない

#### （症例7）アナフィラキシー（回復）

30代 女性

既往歴：無

経過：ワクチン接種約30分後より、悪心、嘔吐、顔面紅潮、呼吸苦出現。

医療機関を受診し、SpO<sub>2</sub> 93%であった。

因果関係：否定できない

#### （症例8）動悸（回復）

40代 女性

既往歴：無

経過：季節性インフルエンザワクチン同時接種。

ワクチン接種約2時間後より、動悸、頭痛、発熱（最高38.0°C）、咽頭痛、両季肋部を中心とした全身痛が出現し、徐々に悪化。動悸は推定脈拍100~120/分程度。

アセトアミノフェンを服用したが、動悸は継続。安定剤を内服して入眠。翌朝には動悸回復。その他の症状は徐々に改善。ワクチン接種より6日目には完全に回復。  
因果関係：否定できない。

**(症例9) 両上眼瞼発赤腫脹、両下肢しびれ (回復)**

20代 男性

既往歴：無

経過： ワクチン接種5分後より、両上眼瞼発赤腫脹が出現。両下肢しびれ感も発現、脱力様症状で体位保持困難となり、臥床。両頬部まで発赤、腫脹感波及あり。

ワクチン接種1時間後に、ヒドロコルチゾン投与するも症状変わらず入院。

因果関係：否定できない

**(症例10) 下痢、関節痛、倦怠感、頭痛 (軽快)**

30代 女性

既往歴：無

経過： 本ワクチン接種より9日前に季節性インフルエンザワクチン接種。ワクチン接種5時間後より、腹痛、下痢。ワクチン接種8時間後には関節痛と倦怠感出現。翌日、下痢回復、頭痛出現。接種2日後、関節痛と倦怠感は消失するも頭痛は継続。接種3日後、頭痛は軽くなったが、まだ継続。

因果関係：否定できない

**(症例11) 上腹部痛、下痢、倦怠感 (軽快)**

20代 女性

既往歴：無

経過： 本ワクチン接種より1週間前に季節性インフルエンザワクチン接種。ワクチン接種1.5時間後より、上腹部痛と倦怠感出現。ワクチン接種2.5時間後には下痢。この後、上腹部痛は軽減傾向にあるも、倦怠感とともに投与3日後まで継続。倦怠感は4日後も継続。

因果関係：否定できない

**(症例12) しびれ (両手～両肘下) (回復)**

40代 女性

既往歴：高血圧、高コレステロール血症

経過： ワクチン接種約10分後、両手のしびれ (両手から両肘下まで拡大)、動悸あり。翌朝には症状消失。

因果関係：否定できない

**(症例 13) 39°C以上の高熱（軽快）**

10代 女性

既往歴：無

経過： ワクチン接種5時間後、発熱、咽頭痛、上肢と下肢のしびれ出現。頭痛、めまい、呼吸苦あり。

因果関係：否定できない

**(症例 14) 39°C以上の発熱、インフルエンザA型（回復）**

30代 男性

既往歴：無

経過： ワクチン接種2日後、昼頃から咳出現。深夜発熱37.3°C。

ワクチン接種3日後、朝38.6°Cの熱があり、アセトアミノフェン内服。昼過ぎには39.6°Cまで体温上昇。徐々に関節痛が出現したため、同日午後、医療機関受診。インフルエンザ検査にてA型陽性。

因果関係：否定できない

**(症例 15) アナフィラキシー様反応（軽快）**

30代 女性

既往歴：無

経過： 本ワクチン接種より8日前に季節性インフルエンザワクチン接種。

本ワクチン接種30分後、めまい、前胸部圧迫感出現。経時的に増強し、悪寒、振戦、四肢のしびれ出現、増悪を認めた。末梢ルートを確保後、ヒドロキシジン塩酸塩筋注、ヒドロコルチゾンコハク酸エステル静注にて軽快傾向。

因果関係：否定できない

**(症例 16) アナフィラキシー（回復）**

20代 女性

既往歴：クローン病（プレドニゾン15mg/日 服用）

経過： ワクチン接種翌朝、出勤途中で気分不良あり、出勤後に呼吸障害、意識レベル低下に至った。動脈血液ガス分析では、pH 7.41、pCO<sub>2</sub> 52torr、pO<sub>2</sub> 72torr、血球計数では異常なく、血液生化学では、低カリウム血症3.3mEq/Lを認めた。酸素吸入及び静脈ライン確保、更に副腎皮質ステロイドホルモンを投与し、約12時間で回復。

因果関係：否定できない

**(症例 17) その他の通常の接種では見られない異常反応（軽快）**

20代 女性

既往歴：感冒時、発熱時に喘息出現。

経過： ワクチン接種後、鼻汁、咳、頭痛、関節痛、息苦しさ出現。ワクチン接種 2 日後、喘鳴出現。ワクチン接種 3 日後、医療機関受診。体温 37.8℃、脈拍 90-120/分、血圧 134/76 mmHg、喘鳴継続。ワクチンの副反応と診断され、入院。

因果関係：否定できない

#### (症例 18) アナフィラキシー (回復)

40代 女性

既往歴：無

経過： ワクチン接種 15 分後、嘔声、目の痒み、戦慄出現し、血圧 148/84 mmHg、脈拍 109、SpO<sub>2</sub> 98 であり、治療のため入院。ラニチジン、メチルプレドニゾロンコハク酸エステルナトリウムを点滴投与し、さらにクロルフェニラミンを静注にて、脈拍 98、SpO<sub>2</sub> 99。胸部ラ音無し。ワクチン接種 45 分後、目の痒みと動悸は消失し、嘔声も改善、血圧 140/90 mmHg、脈拍 74、SpO<sub>2</sub> 99。

因果関係：否定できない

#### (症例 19) 急性肝障害 (回復あるいは軽快)

70代 男性

既往歴：薬剤アレルギー、肝障害

経過： ワクチン接種 3 日後まで熱感持続。

ワクチン接種 7 日後より心窩部鈍痛し、その後痛みが強まると共に嘔吐、38.6℃の発熱。同日、血液検査を実施し、血中ビリルビン 2.2、ZTT 12.7、AST 1760、ALT 1029、ALP 675、 $\gamma$ -GTP 918、WBC 1100、RBC 490、血色素 14.9、血小板 21 万 9 千、ヘモグロビン 43.9。

因果関係：否定できない

#### (症例 20) アナフィラキシーショック (回復)

50代 女性

既往歴：アレルギー性鼻炎

経過： ワクチン接種 3 時間後より、掻痒を伴う蕁麻疹様紅斑が出現し、四肢から全身に拡大。次第に掻痒感が増悪するとともに、血圧は 120/70 から 90/40 mmHg へ低下。さらに、四肢末端チアノーゼも出現したため、救急搬送。

因果関係：否定できない

#### (症例 21) 血管迷走神経反射疑い (回復)

40代 女性

既往歴：機械性蕁麻疹

経過： ワクチン接種 15 分後、浮動性めまい、動悸が出現し、救急外来を受診。ワクチン

接種 25 分後、四肢冷感、しびれが出現し、酸素飽和度の低下を認めた。ステロイド等の投与を行い、症状は軽快したが、経過観察目的にて入院となった。ワクチン接種翌日、状態安定のため、退院となった。

因果関係：否定できない

**(症例 22) 左上腕の痛みとしびれ (未回復)**

40代 女性

既往歴：無

経過： ワクチン接種後、接種した左上腕のしびれ感、冷感、疼痛が 5 日持続。

因果関係：否定できない

**(症例 23) 末梢神経炎・筋炎 (未回復)**

40代 男性

既往歴：無

経過： ワクチン接種 1 日後、起床時より右上腕（接種側）三頭筋の筋力低下、疼痛が出現。ワクチン接種 2 日後、左大胸筋のけいれんが出現。ワクチン接種 3 日後、左大腿筋四頭筋けいれんが出現。ワクチン接種 9 日後、左上腕三頭筋の筋力は、MMT で 4 程度。

因果関係：情報不足

**(症例 24) 左上肢の筋力低下・痛み (不明)**

20代 女性

既往歴：無

経過： 本ワクチン接種時、指先に響く等の症状はなかった。本ワクチン接種翌日、就寝時に左上肢のだるさに気づく。本ワクチン接種 2 日後、朝より膝より前腕にかけて痛みが出現し、だるさが徐々に悪化。本ワクチン接種 4 日後、季節性インフルエンザワクチン接種。本ワクチン接種 7 日後、コップも持ちにくいと医療機関受診。右手握力 22、左手握力 8。

因果関係：否定できない

**(症例 25) 間質性肺炎増悪 (未回復)**

70代 男性

既往歴：間質性肺炎、アスペルギルス症、肺膿疱症、慢性呼吸不全（プレドニゾロン、抗真菌剤を服用中。在宅酸素療法を導入し近日退院予定。）経過： ワクチン接種 2 時間後より、発熱、呼吸苦が出現。翌日、胸部 X 線検査にて陰影増悪あり。

因果関係：否定できない

**(症例 26) 紫斑、意識障害、けいれん (調査中)**

30代 女性

既往歴：自己赤血球感作性紫斑病の指摘有るも確定診断無し。

経過：本ワクチン接種7日前に季節性インフルエンザワクチン接種。

本ワクチン接種2時間後、ふらつきと接種側上腕から前腕への紫斑、対側前腕の紫斑出現。嘔吐・嘔気なし。接種翌朝、筋力低下出現、トイレまでの歩行がかろうじて可能。紫斑は有痛性で前腕部にまで拡大。接種翌日夜、3回のけいれん発作が認められたが、以後の発作はなし。

因果関係：否定できない

**(症例 27) アナフィラキシー (回復)**

40代 女性

既往歴：甲状腺機能亢進症

経過：ワクチン接種1時間後、嘔気、めまい、悪感が急速に出現。ヒドロコルチゾン投与にて急速に改善。

因果関係：否定できない

**(症例 28) 頭痛、めまい (軽快)**

20代 女性

既往歴：インフルエンザワクチン予防接種30分後に息苦さ(2年前)

経過：ワクチン接種5分後、めまいと吐気が出現し、徐々に症状が悪化。ワクチン接種5時間後、頭痛が強くなり、嘔吐。翌朝、めまいは軽減したが、頭痛は継続。

因果関係：否定できない

**(症例 29) 蕁麻疹、喉頭浮腫、呼吸苦 (回復)**

30代 女性

既往歴：セフトリアキソン、トシル酸スルタミシリンにて、掻痒、咽頭浮腫。グリチルリチン・グリシン・システイン配合剤にてアナフィラキシーショック。

経過：ワクチン接種10分後より掻痒感、喉頭部異物感、呼吸苦が出現。メチルプレドニゾン点滴及びアドレナリン皮下注により改善。

因果関係：否定できない

**(症例 30) 嘔気、血圧低下、腰・下肢痛 (不明)**

30代 女性

既往歴：無

経過：本ワクチン接種2週間前に、季節性インフルエンザワクチン接種。

ワクチン接種1時間経過後も接種部位の疼痛持続。熱感等訴えるも、視診触診では

発赤、熱感なし。血圧 115/90mmHg、脈拍 60/分。30 分程度で気分不良解消、疼痛は軽快傾向。ワクチン接種より約 2 時間後、吐気出現、血圧 94/63mmHg、脈拍 60/分。塩酸メトクロプラミド点滴静注により症状軽快。ワクチン接種 2 日後、腰痛、下肢痛、倦怠感等インフルエンザ様症状出現。ロキソプロフェンナトリウムを内服するも症状改善せず。ワクチン接種 6 日後、症状増強のため、医療機関受診。体温 37.3℃、CRP2.7、白血球数 13,800（好中球 84%）、CK136、血圧 116/72mmHg、脈拍 90/分。疼痛持続、倦怠感あり。咽頭痛、鼻水、咳、痰なし。アセトアミノフェン、レバミピド、セフカペンピボキシルを処方。帰宅後 39℃まで熱発し、左胸部痛が悪化。ワクチン接種 7 日後早朝、救急外来受診。下肢痛持続し、歩行不可。体温：38.2℃。頭痛、咽頭痛なし、咳嗽あり。インフルエンザ迅速試験陰性。CRP10.62、白血球数 15,200（好中球 89%）、CT では左下肺野に肺炎像あり、他に胸膜肥厚（陈旧性疑い）。入院にて経過観察中。

因果関係：否定できない

#### （症例 31）気管支喘息発作（回復）

40 代女性

既往歴：気管支喘息加療中（コントロール良好。過去に季節性インフルエンザワクチン予防接種後、気管支喘息発作の既往あり）

経過： ワクチン接種 1 時間後より、気管支喘息発作出現し、短時間にて増悪。血圧 142/101mmHg、脈拍 120/分、SpO<sub>2</sub>98%。酸素投与（3L/分）開始し、アミノフィリン点滴静注。硫酸サルブタモール吸入を実施し、軽快傾向を確認し専門医へ紹介。

因果関係：否定できない

#### （症例 32）アナフィラキシー（軽快）

50 代男性

既往歴：糖尿病性腎症による腎不全で透析療養中。植物、食品でのアレルギー歴あり

経過： 本ワクチン接種より 1 ヶ月以内に、季節性インフルエンザワクチン接種。

ワクチン接種 30 分後より、くしゃみ発現。ワクチン接種 5 時間後、眼瞼腫脹、体幹の湿疹に気づき、医療機関受診。アナフィラキシーと診断され、ステロイド剤の投与等にて症状やや軽快。

因果関係：否定できない

#### （症例 33）アナフィラキシー（軽快）

30 代 女性

既往歴：無

経過： 本ワクチン接種より 1 ヶ月以内に季節性インフルエンザワクチン接種。



本ワクチン接種 30 分後、動悸が出現後、急激な呼吸困難出現。ベタメタゾンリン酸エステルナトリウムの筋注及びベタメタゾン内服後、すぐにルートを確保。ステロイド点滴開始し、血圧 130 台/70 台。全身の虚脱は 2 時間続き、次第に安定。

翌日も 37 度後半の発熱が持続。

因果関係：否定できない

#### (症例 34) アナフィラキシー (軽快)

40 代 女性

既往歴：無

経過：本ワクチン接種より 1 ヶ月以内に季節性インフルエンザワクチン接種。

本ワクチン接種 30~40 分後より、突然の動悸出現後、呼吸困難出現。ブテゾニド吸入後、脱力感あり。8 時間経過後、症状改善。

因果関係：否定できない

#### (症例 35) 頭痛、嘔気、嘔吐、下痢、微熱 (回復)

20 代 女性

既往歴：無

経過：ワクチン接種 2 時間後より、頭痛に加え、嘔気、嘔吐 (4 回) 出現し、下痢も 10 数回認められた。ワクチン接種翌朝、救急外来を受診。頭痛が強く、鎮痛剤無効。頭部 CT 上、出血は認められず。白血球 7700 (好中球 89.1%)、CRP 4.2、腰椎穿刺で髄膜炎否定。MRA 上異常なく、症状消失。

因果関係：否定できない

#### (症例 36) アナフィラキシー (回復)

10 代 男性

既往歴：気管支喘息加療中

経過：ワクチン接種 40 分後、下顎の疼痛、咳が出現。ワクチン接種 1 時間後、前腕蕁麻疹が出現。補液、ステロイド静注、抗ヒスタミン剤点滴静注により改善。経過観察のため入院、翌日退院。

因果関係：否定できない

#### (症例 37) 気分不快 (回復)

30 代 男性

既往歴：無

経過：ワクチン接種 5 分後、血の気が引くような気分不快が出現。血圧 160/90 mmHg、脈拍 120/分、点滴にて経過観察。

因果関係：因果関係不明

**(症例 38) 血管迷走神経反射 (回復)**

30代 男性

既往歴：無

経過： ワクチン接種 30 分後、熱感、めまい、呼吸困難感、冷汗を認め入院。ワクチン接種翌日、退院。

因果関係：否定できない

**(症例 39) アナフィラキシー (回復)**

30代 女性

既往歴：喘息。過去に季節性インフルエンザワクチン接種後に体調悪化あり

経過： ワクチン接種 5 分後より、両眼周囲の熱感、掻痒が出現。上眼瞼の軽度腫脹あり。ワクチン接種 30 分後より、喘鳴出現。

因果関係：否定できない

**(症例 40) 急性アレルギー性皮膚炎 (回復)**

40代 女性

既往歴：気管支喘息、ワクチン接種後に軽い皮疹出現 (20 年程前)

経過： ワクチン接種 30 分後、顔面紅潮が両側性に出現。ヒドロコルチゾンコハク酸エステルナトリウム点滴静注、オロパタジン塩酸塩内服。ワクチン接種 1 時間後より、両側上眼瞼浮腫および続発性に咳嗽出現。ヒドロコルチゾンコハク酸エステルナトリウム点滴静注、ファモチジンを静注、エピネフリン皮下注、クロルプロマジン塩酸塩処方。ワクチン接種 2 時間後、咳嗽頻回、その後皮膚炎軽快。

因果関係：否定できない

**(症例 41) 左眼球、ブドウ膜炎 (未回復)**

50代 女性

既往歴：甲状腺機能亢進、僧帽弁逆流

経過： ワクチン接種 5 日後、視力低下とかすみ出現。

視力 右：0.4 (1.25-1.25Dzyl-0.50D)、左：0.1 (0.25-1.50D)。

左 虹彩毛様体炎、硝子体泥濁、続発性緑内障。

因果関係：否定できない

**(症例 42) 蕁麻疹、掻痒感 (回復)**

30代 女性

既往歴：アレルギー体質

経過： 本ワクチン接種より 12 日前に季節性インフルエンザワクチン接種。ワクチン接種 10 分後、掻痒感出現。その後大腿部に蕁麻疹出現。フェキソフェナジンを内服し、グリチルリチン・グリシン・システイン配合剤及びプレドニゾン静注。入浴後、全身に蕁麻疹出現。ベタメタゾン・クロルフェニラミン配合剤を内服し、翌朝回復。

因果関係：否定できない

#### (症例 43) 両眼のぶどう膜炎 (未回復)

50代 女性

既往歴：ぶどう膜炎 (両眼)、B 型肝炎ワクチンにて全身倦怠感の発現あり。

経過： ワクチン接種後、両眼充血、眼痛、頭痛、38℃の発熱出現。ワクチン接種翌日、ロキソプロフェン内服にて発熱、頭痛、眼痛は軽快するが、両眼充血は悪化。ワクチン接種 2 日後、アセトアミノフェン内服。ワクチン接種 5 日後、眼科を受診し、両眼ぶどう膜炎の診断及びステロイド結膜下注射・点眼治療実施。ワクチン接種 7 日後、症状悪化のため他院受診。視力右眼 0.15 (0.6)、左眼 0.15 (0.4)。

因果関係：否定できない

#### (症例 44) アナフィラキシー、発熱、腋窩腫瘤 (アナフィラキシー・発熱：回復、腋窩腫瘤：未回復)

40代 女性

既往歴：アレルギー (卵、エビ、ソバ等約 30 種類)

経過： ワクチン接種後、発赤、腫脹、注射刺入部痛あり。発熱 37.8 度、鼻汁、鼻閉出現。ワクチン接種翌朝、動悸、呼吸困難感出現。ワクチン接種 2 日後、胸痛あり。ワクチン接種 6 日後、左腋窩腫瘤および疼痛あり、左腕が上がらない、重量物が持てない。

因果関係：否定できない

#### (症例 45) ギランバレー症候群もしくはその他の神経障害 (未回復)

30代 女性

既往歴：無

経過： ワクチン接種後、手足のしびれ、めまい、身体の節々の疼痛出現。ワクチン接種 20 日後、未回復。

因果関係：局所反応としては否定できない (ギランバレー症候群としては情報不足)

#### (症例 46) 脳梗塞 (不明)

90代 女性

既往歴：高血圧、心疾患にて通院中

経過： 本ワクチン接種 1 週間前に季節性インフルエンザワクチン接種。

本ワクチン接種翌朝、右麻痺、失語症で臥床しているのを家人が発見。同日入院。  
MRI 検査にて脳梗塞を確認。

因果関係：因果関係不明

#### (症例 47) 左脳出血 (未回復)

40代 女性

既往歴：全身性エリテマトーデス、腎不全、高血圧

経過： ワクチン接種 10 日後朝、失語症、右上下肢麻痺出現。頭部 CT にて左レンズ核外側に脳出血を認めた。同日夜、けいれんが出現し、ジアゼパムを使用し、他院脳卒中科へ転院。

因果関係：因果関係不明

#### (症例 48) 肝機能障害 (未回復)

30代 男性

既往歴：無

経過： ワクチン接種翌日より、頭痛、咽頭痛、鼻汁、微熱あり。ワクチン接種 5 日後、38.9 度の発熱、全身倦怠感が出現し、医療機関受診。AST、ALT、LDH、ALP、 $\gamma$ -GTP 値の上昇があり、肝機能異常を認めた。

因果関係：否定できない

#### (症例 49) 39℃以上の発熱 (軽快)

20代 女性

既往歴：無

経過： ワクチン接種 3 日後、38 度の発熱を認め、以後高熱が持続。頭痛、下痢が出現したため入院。ワクチン接種 4 日後、白血球 11,400/mL、CRP 2.74 mg/dL、インフルエンザ簡易検査 A(-)B(-)。点滴にて予防的抗菌剤を投与。ワクチン接種 5 日後、解熱したため退院。

因果関係：否定できない

#### (症例 50) 蕁麻疹 (回復)

60代 女性

既往歴：認知症、誤嚥性肺炎の反復にて絶食中

経過： 絶食中であるため、連日補液にて栄養補給しており、内服は一切無し。ワクチン接種翌日、前頸部、背部、両前腕、両大腿に紅斑が出現。直ちにグリチルリチン・システイン・グリシン配合剤の点滴を行うが、改善無し。ワクチン接種 2 日後、ヒドロコルチゾンの点滴により改善し始め、完全に消失。全身状態安定。

因果関係：否定できない

**(症例 51) 過換気症候群、けいれん (軽快)**

80代 女性

既往歴：無

経過： 接種前より風邪症状有り。ワクチン接種 15 分後、全身の震え、過換気症状、悪寒出現。体温 39 度、血圧 180 台に上昇。過換気症候群、けいれん発作、不明熱と診断され、経過観察を目的に入院加療。呼吸性アルカローシスがあるものの、他の血液所見異常なし。

因果関係： 否定できない

**(症例 52) 発熱 (軽快)**

10代 女性

既往歴：慢性骨髄性白血病 (骨髄移植後)

経過： ワクチン接種翌日、耳痛にて耳鼻科を受診し、中耳炎の診断。嘔気などのため他院受診し、点滴中に発熱。体温 39.1°C、CRP 0.10 mg/dL、インフルエンザ迅速診断 (-)。ワクチン接種 3 日後、CRP3.12 mg/dL。

因果関係： 否定できない

**(症例 53) ショック (血圧低下) (回復)**

20代 女性

既往歴：無

経過： ワクチン接種 1 時間後、冷汗、顔面蒼白、気分不良、嘔気、血圧低下出現。下肢挙上、補液 500 mL 開始。血圧 100/- mmHg へ回復。念のため、点滴 500mL を追加し、回復を確認。

因果関係： 否定できない

**(症例 54) 腫脹、発赤、かゆみ (不明)**

20代 女性 (妊娠 28 週)

既往歴：無

経過： ワクチン接種 2 日後、接種部位の腫脹と痒み出現。両肘、頸部、顔面の発赤と掻痒感、手足・背中にも掻痒感が出現。

因果関係： 否定できない

**(症例 55) アナフィラキシーショック (調査中)**

10代 男性

既往歴：Charcot-Marie-Tooth 病 (シャルコー・マリー・トゥース病) の疑い。ワクチン接種後に嘔吐認めたが、すぐに軽快 (6 年前)

経過： ワクチン接種 10 分後、嘔吐出現。顔面蒼白となった。血圧 70/40 mmHg。メチルプレドニゾロン、アドレナリンを静注。血圧及び心拍数の上昇を認めたが、再度嘔吐が出現し、血圧は 70 台に低下。ドパミンの投与を開始し、経過観察のため入院。その後、血圧は 80~100 で安定。

因果関係：否定できない

#### (症例 56) 臍帯過捻転・胎児死亡

20 代 女性 妊娠 39 週

既往歴：無

経過： 本ワクチン接種 4 日後頃から、胎動低下。本ワクチン接種 6 日後、産科受診。臍帯捻転による胎児の死亡と診断。翌日、誘発分娩。本人はほぼ健常。

因果関係：因果関係不明

専門家の意見：

○三橋先生：

臍帯の過捻転が原因。「子宮内胎児死亡」が正しい。

○名取先生：

過捻転があって浮腫があるので直接的な死産の原因は臍帯過捻転。ワクチンとの関連はないと考える。ベースラインのリスクとして 1000 出産で周産期死亡は 4.7 であり、臍帯原因は約 10%であることから、ワクチン接種との重なりは十分に起きうる。

#### (症例 57) 倦怠感、意識障害 (回復)

70 代 女性

既往歴：大腸癌 (術後再発)

経過： ワクチン接種 2 時間後、倦怠感、嘔気出現。意識レベル低下 (JCSI-1)。血圧 120 台/60 台。体温 36 度台であり、経過観察。意識レベル遷延が持続。採血の結果、臨床検査値に大きな変動を認めず。ワクチン接種翌日、後遺症なく改善。

因果関係：情報不足

#### (症例 58) 脳出血 (不明)

80 代 女性

既往歴：気管支喘息、慢性気管支炎に伴う慢性呼吸不全、発作性心房細動、慢性心不全、糖尿病 (2 型、インスリン投与)、アルツハイマー型認知症

経過： ワクチン接種 8 時間後、トイレに行こうとするが立てなかった (支えれば可能)。ワクチン接種翌朝より、広く下肢の脱力有。意識レベルは通常通り。CT にて脳出血と判明。

因果関係：因果関係不明

**(症例 59) アナフィラキシー疑い (回復)**

10代 女性

既往歴：気管支喘息

経過： ワクチン接種 25 分後、のどの違和感、呼吸苦、倦怠感が出現。喘鳴あり、SpO<sub>2</sub>95%、脈拍 110 台、アナフィラキシーを疑い、サルブタモール硫酸塩吸入、アミノフィリン及びメチルプレドニゾロンコハク酸エステルナトリウム点滴。

ワクチン接種 1 時間後に回復が認められたが、観察目的にて入院

因果関係：否定できない

**(症例 60) フィッシャー症候群 (ギランバレー症候群) (不明)**

20代 女性

既往歴：無

経過： 本ワクチンと季節性インフルエンザワクチンを同時接種。

ワクチン接種 5 日後、起床時より視界のぼやけ感を自覚し、見えにくさと共に持続。ワクチン接種 10 日後、両手首以遠のしびれ感出現。その後、上行し、両肘以遠のしびれ感出現。瞳孔散大、対光反射低下も出現。ワクチン接種 11 日後、受診し、頸部及び頸椎の MRI 異常なし。伝導速度波、軽度低下あり、フィッシャー症候群疑いと診断。

因果関係：副反応としては否定できない。ギランバレー症候群の可能性あり。

**(症例 61) 発熱、蕁麻疹、ネフローゼ増悪 (軽快)**

10歳未満 男性

既往歴：昨年、季節性インフルエンザワクチン接種で発疹、発熱あり。食物アレルギーなし、ネフローゼ症候群でステロイド内服中 (1-3mg/kg/日、隔日投与中)。

経過： 抗ヒスタミン薬内服の下、ワクチン接種。その際、Alb 3.5、尿蛋白(-)。ワクチン接種当日夜、38 度の発熱、蕁麻疹あり。ワクチン接種翌日、発熱・発疹軽快、抗アレルギー薬内服。ワクチン接種 2 日後より尿蛋白(+)、ワクチン接種 4 日後、尿蛋白(3+)、Alb 1.1、顔面の浮腫著明、尿量 270mL/日。ステロイド 2mg/kg/日に増量、血圧上昇あり。ワクチン接種 5、6、8 日後にアルブミン製剤と利尿剤投与。ワクチン接種 9 日後に Alb2.2 まで回復。

因果関係：否定できない

**(症例 62) 喀血、呼吸困難 (回復)**

60代 男性

既往歴：慢性心不全 (急性増悪のため、ワクチン接種 3 日前まで入院)

経過： ワクチン接種し帰宅後、喀血。ワクチン接種翌日、呼吸時胸痛、呼吸困難あり。胸部レントゲン検査にてワクチン接種時には認められなかった浸潤影あり。白血球数 14,000、CRP 5.6 と上昇あり。肺炎の疑いにて入院。

因果関係： 因果関係不明

#### (症例 63) 血管迷走神経反射 (回復)

30代 女性

既往歴： 関節リウマチ (メトトレキサート服用中)。小学生時、親子丼を食し、蕁麻疹出現歴 2 回あり。

経過： ワクチン接種直後、全身の火照り感あり。その後掻痒感を認めた。症状消失しつつあったため、帰宅始めたところ、駐車場で、再び強い火照り感があり、その後、意識消失。通行人に助けられ、近医受診し、入院。

因果関係： 否定できない

#### (症例 64) けいれん (回復)

10歳未満 男性

既往歴： 卵アレルギーあり (小児科主治医の承諾あり)

経過： ワクチン接種 8 時間後、けいれん出現。救急車到着時、けいれん回復するも病院へ搬送。

因果関係： 情報不足

専門家の意見：

○五十嵐先生：

ワクチン接種後に「けいれん」が起きたという前後関係はありますが、それらに因果関係があるのかどうかこの報告書だけでは判断できません。患者には発熱があったのか、入院後の血液、髄液、画像などの検査結果、後遺症を含めた患者の状態 (回復と記述されています) などを知りたいと思います。

○岩田先生：

発熱の有無、検査所見、熱性けいれんの既往歴・家族歴が不明であるため、けいれんの原因が分からず、ワクチンとの因果関係を判定するのは困難です。

○土田委員：

ワクチン接種時が既に A 型インフルエンザウイルス感染を含む自然感染による潜伏期間であった可能性もある。けいれんのワクチン接種との因果関係は肯定も否定もできない。いわゆる有熱時けいれんの可能性もあり、症状経過からみて急性脳症であるとは言えないと考えます。

#### (症例 65) けいれん重積、急性脳症 (回復)

10歳未満 男性



既往歴：無

経過：本ワクチン接種 20 日前、季節性インフルエンザワクチン接種。

本ワクチン接種翌朝より、40℃の発熱あり。同日夜、熱性痙攣が出現し、医療機関に搬送。その後も痙攣は再発（計 4 回）し、加療目的のため別の医療機関に入院。

因果関係：因果関係不明

専門家の意見：

○五十嵐先生：

前日から感冒症状あり、接種当日も咳と鼻水があったが、熱がなかったため、接種を行った。ことが本当なら原病（感冒）による可能性も否定できません。従って、最終判断は、因果関係不明。ただし、原病（感冒）あるいはワクチンによる副反応の可能性もあり。

○岩田先生：

発熱は因果関係ありと考えて良いと思います。

けいれんは発熱が誘因となったもので、直接ワクチンが関与したものではないと考えても良いと思いますが……。ウイルス分離等の結果待ちですが、何もでなければ「熱性けいれん重責発作」の診断で良いと考えます。発熱の原因として、何らかのウイルス感染の可能性はありそうですが、ワクチン接種も否定はできないと思います。

○土田先生：

ワクチン接種による発熱ということは否定できないと考えます。意識障害やけいれんを重積していることから、症状経過から急性脳症であると考えます。ただし、これらの経過は、若干時間進行が早いという印象はありますが、これまでの季節性インフルエンザ感染でも経験しているものと大きく変わるものではないと考えます。

#### （症例 66）アナフィラキシーショック（軽快）

40代 女性

既往歴：卵アレルギー

経過：ワクチン接種後、皮疹、微熱、呼吸苦、軽度のアナフィラキシーを疑わせる症状が出現。

因果関係：否定できない

#### （症例 67）急性散在性脳脊髄炎（ADEM）（軽快）

50代 女性

既往歴：無

経過：ワクチン接種 8 日後、頭痛、発熱出現。ワクチン接種 9 日後、臀部の異常感覚が出現。ワクチン接種 13 日後、排尿障害が出現。ワクチン接種 17 日後、排尿障害が軽快しないため、医療機関受診。頭部・胸部・腰部 MRI では明らかな異常はなかったが、髄液検査にて蛋白上昇、細胞数増加を認めたため、ADEM と診断。

因果関係：副反応としては否定できない。ADEM の可能性あり。

**(症例 68) 発熱 (回復)**

50代 女性

既往歴：無

経過： 本ワクチン接種より14日前に季節性インフルエンザワクチン接種。  
本ワクチン接種2日後より、倦怠感、発熱(38.8~39度)出現。食欲不振、嘔気、軟便あり。左下腹部圧痛あり。白血球13,320、CRP3.40と上昇。抗生剤点滴し、経過をみるも翌日、体温39.8度。腹痛もあり白血球数12,530、CRP12.20と上昇したため、入院。腹部CT等で胃腸炎、胆のう炎等の有意所見なし。本ワクチン接種8日後、治癒にて退院。

因果関係：情報不足

**(症例 69) 発熱 (軽快)**

50代 男性

既往歴：無

経過： ワクチン接種5時間後、39℃台の発熱出現。ワクチン接種翌日も発熱持続。午後、医療機関受診。肝機能等の検査にて、白血球10,100、GOT207、GPT195、ALP481、CRP7.04。

因果関係：否定できない

**(症例 70) けいれん (調査中)**

10歳未満 女性

既往歴：無

経過： ワクチン接種2日後、悪寒出現。38℃以上の発熱。ワクチン接種5日後、全身強直間代性けいれん認め、その後意識レベルの低下(呼びかけや刺激により開眼)を認めたため入院。入院後もけいれんを認め、転院。けいれん重積の状態にあり、人工呼吸管理の上、経過観察。

因果関係：因果関係不明

専門家の意見：

○五十嵐先生：

接種2日後の発熱(18日に発熱と読めますが、間違いありませんね。)、5日後のけいれん・意識障害であり、ワクチン接種による副反応と断定することは難しいと思います。

○土田先生：

新型インフルエンザワクチン接種2日後より発熱、5日後に全身強直間代性けいれん、意識レベル低下。入院後もけいれんを繰り返す。転院後もけいれん重積。人工呼吸管理、抗けいれん薬投与で経過観察中ということであり、ワクチン接種後から症状発現までの時間的観点からは、新型インフルエンザワクチン接種による発熱の可能性もありますが、ワクチ

ン接種時が既に（自然感染による）潜伏期間であった可能性もあります。

意識障害やけいれん（重積していること）があることなど、症状経過より急性脳症であるといっても良いと考えます。この情報からは、おそらく新型インフルエンザウイルス感染による急性脳症といっても良いと思います。

#### （症例 71）発熱（軽快）

40代 女性

既往歴：喘息

経過： 本ワクチン接種より7日前に季節性インフルエンザワクチン接種。

本ワクチン接種翌日、午前中39℃の発熱あり。アセトアミノフェン内服し、解熱。注射部位の腫れや熱感なし。関節痛などインフルエンザを思わせる症状なし。同日午後、38℃の発熱あり。アセトアミノフェンを再度内服。本ワクチン接種2日後、体温37.3℃、軽い頭痛のみとなった。

因果関係：否定できない

#### （症例 72）急性呼吸不全、熱発（未回復）

80代 女性

既往歴：慢性心不全疑い

経過： ワクチン接種より7日前に季節性インフルエンザワクチン接種。ワクチン接種翌日、歩行中に転倒。ワクチン接種2日後、動作緩慢となる。ワクチン接種3日後、37.7℃の熱発あり。ワクチン接種4日後、38℃の熱発あり。意識レベル低下。CRP6+、白血球11,600、NT-BNP21,612pg/ml。

因果関係：急性呼吸不全は因果関係不明。熱発は否定できない。

#### （症例 73）急性呼吸不全、熱発（未回復）

90代 男性

既往歴：脳梗塞、認知症

経過： ワクチン接種5日前より歩行時のふらつきを主訴に入院。接種2.5時間後、転倒。ワクチン接種3.5時間後、転倒。ワクチン接種8.5時間後、悪寒、37.6℃の熱発が出現。ワクチン接種翌日、38.4℃の熱発。インフルエンザ抗原テストは陰性。ワクチン接種2日後、労作時呼吸困難出現。レントゲンとCTにて、両下肺野のボタンスネ状陰影出現。血液データ：CRP(6+)、白血球8,200。ワクチン接種3日後、チアノーゼ出現したため酸素吸入開始。ワクチン接種4日後、呼吸停止するも痰吸引にて回復。39.3℃の熱発あり。メチルプレドニゾロンコハク酸エステルナトリウム静注。血液データ：CRP(6+)、白血球9,500。ワクチン接種9日後、腸管膜動脈閉塞にて緊急手術施行。

因果関係：因果関係不明

#### (症例 74) けいれん (軽快)

10歳未満 女性

既往歴：急性リンパ性白血病

経過： ワクチン接種3時間後、呼びかけに返事がなくなる。ワクチン接種5時間後、数分の意識消失出現。救急車で病院へ搬送。MRI、脳波に異常なし。

因果関係：情報不足

専門家の意見：

○五十嵐先生：

ワクチン摂取後3時間後に呼びかけに変じなく、4時間目に意識消失が数分あった症例です。MRIや脳波に異常はないとのこと。副反応に「けいれん」の記載がありますが、概要にはけいれんの対応や持続時間などの記載がありません。意識喪失発作をけいれんの症状と判断したのでしょうか？

○岩田先生：

発作(けいれん?)時の発熱、血糖値、静脈血ガス分析、血圧等に関する情報がないので、添付された記載のみから因果関係について判断するのは不可能です。

○土田先生：

新型インフルエンザワクチンを午前接種。同日午後2時頃、呼びかけに返事が無くなる(意識障害)。同日午後4時頃、意識消失数分。(けいれん/意識障害 報告医の判断はけいれん)その後、救急車要請病院搬送。MRI及び脳波で異常なし。ワクチン接種後から症状出現までの時間的観点からは、新型インフルエンザワクチン接種後の意識障害であり、ワクチンとの因果関係は否定できないと考えます。

#### (症例 75) アナフィラキシー (軽快)

70代 女性

既往歴：陳旧性肺結核(右上葉切除)による慢性呼吸不全で在宅酸素療法中。

経過： 本ワクチン接種15日前に季節性インフルエンザワクチン接種。本ワクチン接種5時間後、水様性鼻汁、鼻閉が突然始まり、湿性咳嗽も出現。同日午後、咳嗽は増悪し、呼吸時の喘鳴が生じるようになった。理学所見上は末梢気道狭窄と判断。

因果関係：否定できない

#### (症例 76) 肝機能異常 (調査中)

60代 女性

既往歴：無

経過： ワクチン接種14日後、嘔気、食欲不振、倦怠感、腹部不快感、軟便が出現。

因果関係：調査中

**(症例 77) 発熱 (回復)**

60代 男性

既往歴：胃癌の補助療法中（シスプラチン、テガフル・ギメラシル・オテラシルカリウム配合剤内服中）。副作用で口内炎続く。

経過： ワクチン接種4日前、白血球4,880。ワクチン接種翌日の午後、38.3℃の発熱が出現し、40.2℃まで上昇。その後解熱。ワクチン接種後に接種前白血球1,470であったことが判明。

因果関係：否定できない

**(症例 78) 心筋梗塞 (調査中)**

50代 男性

既往歴：外傷性くも膜下出血による不眠等の精神症状、糖尿病（インスリンコントロール中）、高血圧、高脂血症、動脈硬化（血栓と大量のプラークあり）

経過： ワクチン接種後、全身倦怠感強く、ワクチン接種4日後、当院精神科に連絡あるも来院せず。倦怠感増悪し、救急要請。心電図にて完全房室ブロックを認め、救命センターに搬送。救命センター搬入時、心電図所見より急性心筋梗塞（下壁梗塞）にて緊急カテーテル施行となった。体動強く、フェンタニル、ミダゾラムで鎮静し、気管挿管しカテーテル術開始。開始後心停止あり。TPM留置。ステント、血栓除去。ウロキナーゼ、数回ニトロプルシドナトリウム投与。IABPサポート下でCCU入床。自脈でのコントロールを試みたがTPM管理とした。

因果関係：因果関係不明

**(症例 79) 喘息発作 (調査中)**

60代 女性

既往歴：好酸球増多症候群、好酸球性副鼻腔炎、高脂血症、高血圧、プレドニゾロン服用中

経過： ワクチン接種後30分以上経過観察したが、特記すべき所見を認めず帰宅。夜になり呼吸苦が強くなり、横臥できないほどとなった。ピークフローも66%まで低下。ワクチン接種翌日、外来を受診。喘息発作の診断。胸部X線では異常なし。

因果関係：否定できない

**(症例 80) 蕁麻疹 (回復)**

40代 男性

既往歴：無

経過： ワクチン接種後、昼食後に全身に蕁麻疹、顔面浮腫出現。ヒドロコルチゾンコハク酸エステルナトリウム点滴、投薬により回復。

因果関係：否定できない

**(症例 81) 顎、舌の不随運動 (調査中)**

10歳未満 男性

既往歴：1～2歳時にけいれんあり。

経過：本ワクチン接種より14日前に季節性インフルエンザワクチン2回目接種。副反応等は特になし。

本ワクチン接種後10分くらいに舌を出す、えずくような連続性の咳、顎の不随意運動などの症状出現。会話はしゃべりにくそうだが可能。意識はクリア。四肢麻痺なし。歩行可能。蕁麻疹なし。接種部位の発赤腫脹なし。

本ワクチン接種1時間後、排尿時に血尿を認めた。

因果関係：因果関係不明

**(症例 82) けいれん (調査中)**

70代 女性

既往歴：ベタメタゾン内服中。

経過：本ワクチン接種より前1ヶ月以内に季節性インフルエンザワクチン接種。

本ワクチン接種後5日後、左半身のけいれん発作と意識消失が5分間持続。同日30分毎に5分程度の発作あり。

本ワクチン接種11日後、重積発作となり、抗けいれん薬投与。

因果関係：情報不足

**(症例 83) 喘息発作 (嘔気、呼吸浅薄)、蕁麻疹 (軽快)**

40代 女性

既往歴：アレルギー、喘息

経過：ワクチン接種30分後に嘔気、呼吸が浅くなった症状あり。所持していた喘息薬を服用し軽快。

ワクチン接種翌日、蕁麻疹に気づき皮膚科を受診。

因果関係：否定できない

**(症例 84) 発熱、低ナトリウム血症 (回復)**

80代 男性

既往歴：肺気腫、関節リウマチ

経過：ワクチン接種2時間後、37.8℃。

ワクチン接種3時間後、38.1℃の発熱出現。下痢もあったが、呼吸器症状はなし。

ワクチン接種翌日、脱力感にて医療機関受診。炎症反応の上昇（白血球 9500/μL、CRP 4.5 μg/dLと低ナトリウム血症 (Na 128 mmol/L) ) を認め入院。

因果関係：発熱は否定できないが、低ナトリウム血症については情報不足。

**(症例 85) 敗血症 (回復)**

70代 男性

既往歴：膝腫瘍、糖尿病

経過： ワクチン接種後、行動異常あり。ワクチン接種翌日 38.8℃の発熱と脱力を認め医療機関へ救急搬送。白血球 17,000、CRP 2.7、 $\gamma$ -GTP 693、T-Bil 1.19 と上昇し、収縮期血圧 60 mmHg になったため、敗血症ショックと診断された。

因果関係：調査中

**(症例 86) 全身性けいれん、意識障害 (調査中)**

40代 女性

既往歴：尿路結石、子宮筋腫（貧血あり）、アレルギー（セファクローで発疹あり）。

経過： ワクチン接種時、体温 36.7℃、鼻汁、咳が少しあり。ワクチン接種 2 日後、頭痛出現。インフルエンザ迅速検査キット陰性。ワクチン接種 5 日後、突然倒れ、呼びかけに反応せず、救急搬送。搬送中に右への共同偏視を伴う全身性强直性けいれん出現。発熱 37.2℃、炎症反応（CRP 6.0、白血球 14,600）。髄液は、無色透明、細胞数 2、タンパク 39、糖 92。血中抗体検査の結果、単純ヘルペスウイルス IgG 及び IgM とも陰性、水痘ウイルス IgG 21・IgM 陰性、EB ウイルス IgM 陰性・IgG160 倍と脳炎、脳症を否定できないためアシクロビル、フェニトイン投与にて治療中。腫瘍性辺縁系脳炎の可能性について、婦人科系の癌から発生することがあり、CT 検査にて検査予定。

因果関係：因果関係は否定できない調査中

**(症例 87) 発熱 (軽快)**

20代 男性

既往歴：脳性麻痺、経管栄養中、持続陽圧呼吸療法（夜間のみ）使用中

経過： ワクチン接種翌日、発熱出現。採血にて CRP4.8。抗生剤点滴治療。ワクチン接種 2 日後、高熱持続し、検査で CPR18、胸写で所見なし。不明熱で入院。抗生剤に反応。

因果関係：因果関係不明

**(症例 88) 慢性心不全増悪、慢性呼吸不全急性増悪 (軽快)**

60代 女性

既往歴：慢性閉塞性呼吸器疾患（慢性呼吸不全）、慢性心不全有り。在宅酸素療法・非浸襲的換気療法（NIPPV）施行。

経過： 本ワクチン接種 14 日前、季節性インフルエンザワクチン接種。本ワクチン接種翌日、喘ぎ様呼吸を認め、救急搬送。CO<sub>2</sub>ナルコーシス、心不全増悪を認め、NIPPV 及び利尿剤で軽快。

因果関係：因果関係不明

**(症例 89) アナフィラキシー (回復)**

30代 女性

既往歴：食物アレルギー (もち米)

経過：本ワクチン接種13日前、季節性インフルエンザワクチン接種。本ワクチン接種45分後、両大腿前面に違和感と発赤が出現。マレイン酸クロルフェニラミン、塩酸ラニチジン、ヒドロコルチゾンコハク酸エステルナトリウムを投与し、対処したが、更に全身の違和感、胸部紅斑が出現。その後、軽快。ワクチン接種翌日、回復。

因果関係：否定できない

**(症例 90) 蕁麻疹 (軽快)**

10歳未満 男性

既往歴：てんかん、カルバマゼピン内服 (ワクチン接種約1ヵ月前より投与開始)

経過：ワクチン接種翌日、全身に粟粒大の小丘疹が出現。外来にて抗アレルギー剤等投与するも悪化。入院し、ステロイドにより治療。ワクチン接種18日後、軽快し退院。

因果関係：調査中

**(症例 91) 蕁麻疹 (軽快)**

10歳未満 男性

既往歴：気管支喘息にて加療中。卵白 RAST 法で陽性だが、食物アレルギーとしては認められていない。

経過：ワクチン接種2時間後、全身蕁麻疹出現し、3日間連日点滴により治療。気道、咽頭症状はなし。

因果関係：否定できない

専門家の意見：

○岡部先生：

ワクチン接種後の時間経過、症状等から、ワクチン接種との因果関係は高そうです

**(症例 92) 発熱、喘息発作 (回復)**

10歳未満 女性

既往歴：気管支喘息、食物アレルギー

経過：本ワクチン接種以前に、季節性インフルエンザワクチン接種。本ワクチン接種後、37.5℃の熱と頭痛が出現。本ワクチン接種翌日、38℃を超える発熱は自然に解熱したが、喘鳴出現。病院を受診し、吸入にて一旦改善するも、帰宅後に悪化。本ワクチン接種2日後、喘鳴は改善せず、ステロイド点滴したが、症状は改善無し。本ワクチン接種3日後、血液データ：白血球8,100、CRP3.69。抗生剤、ステロイド点滴も改善せず、同日入院。入院後のステロイド点滴継続にて喘鳴は改善。



因果関係：否定できない

専門家の意見：

○五十嵐先生：

ワクチン接種によりアレルギー反応が生じて発熱し、持病の気管支喘息発作を誘発した可能性が否定できません。

○土田先生：

新型インフルワクチン接種から症状出現までの時間的要素からは、症状とワクチンとの因果関係を否定する合理的な理由は見当たりません。ただし、血液検査所見や抗菌薬投与などの経緯より、何らかの感染（担当医は最近感染と考えているようです）があったらしいことや既往に気管支喘息があることから、臨床的には、感染により喘息を惹起させたものと推察できると考えます。

#### （症例 93）喘鳴、心不全、発熱（調査中）

70代 女性

既往歴：高血圧症、弁膜症、医薬品・食品による発疹・体調不良等の既往有り

経過：ワクチン接種翌日、体調不良となり、鼻水、喘鳴が出現。ワクチン接種2日後、38.2℃の発熱、呼吸苦が出現し、救急を受診。ワクチン接種3日後、喘鳴改善せず。ワクチン接種6日後、心不全にて入院。

因果関係：調査中

#### （症例 94）アナフィラキシー（回復）

60代 女性

既往歴：気管支喘息

経過：ワクチン接種20～30分後、呼吸困難、鼻閉、痰の増加、ふらつきが出現。アドレナリン皮下注、リン酸デキサメタゾンナトリウム、アミノフィリン点滴にて徐々に軽快。ワクチン接種翌日、回復。

因果関係：否定できない

#### （症例 95）頭痛、嘔吐（回復）

10歳未満 男性

既往歴：喘息。心疾患手術の既往有り。

経過：ワクチン接種後、頭痛が出現し、やや改善して帰宅するも、泣きわめくほどの頭痛が著明となり入院。ワクチン接種2日後、症状改善し、退院。

因果関係：調査中

#### （症例 96）発熱（回復）

30代 女性

既往歴：喘息

経過： ワクチン接種前、体温 36.4℃。ワクチン接種 2 時間後、39℃の発熱出現。ワクチン接種翌日、回復

因果関係：調査中

#### (症例 97) プロトロンビン時間延長（ワルファリン作用増強）（回復）

80代 男性

既往歴：パーキンソン症候群、褥瘡あり。脳梗塞の既往有り。脳梗塞再発予防のため、ワルファリンを本ワクチン接種 1.5 ヶ月前より内服開始。

経過：本ワクチン接種前日、入院。本ワクチン接種当日、血液検査実施。PT 16.1、PT-INR 1.62、PT-% 39.2。本ワクチン接種 11 日後、季節性インフルエンザワクチン接種。本ワクチン接種 15 日後、起立性低血圧治療のため、アメジニウムメチル塩酸塩を増量。本ワクチン接種 27 日後、血液検査を実施したところ、PT 57.9、PT-INR 6.20、PT-% 7.6。PT 延長のため、ワルファリンの投与中止。ビタミン K 製剤を投与。本ワクチン接種 28 日後、血液検査実施し、PT 正常値に回復し、ワルファリン内服を再開。PT 12.9、PT-INR 1.27、PT-% 60.4。

因果関係：調査中

#### (症例 98) 発熱、炎症反応高値（回復）

70代 男性

既往歴：肺気腫

経過：ワクチン接種翌日、熱発、頭痛、悪寒出現。ロキソプロフェン服用したが、その後も症状持続。ワクチン接種 3 日後、救急受診。白血球 12,300、CRP 18.73 と高値であり、明らかな感染源はないが、細菌感染を疑い入院。スルバクタム・アンピシリンナトリウム製剤を投与開始。体温 38.2℃。ワクチン接種 4 日後の体温 38.5℃。ワクチン接種 5 日後以降は体温 37℃台へ解熱。ワクチン接種 7 日後、CRP 0.6 と低下し、回復。近日中に退院予定。

因果関係：因果関係不明

#### (症例 99) アナフィラキシーショック（軽快）

70代 男性

既往歴：塵肺（テオフィリン製剤、去痰剤を服用中。呼吸状態は安定）高血圧

経過：高血圧もあるが、内服治療中であり BP140/90 くらいで安定していた。ワクチン接種後、経過観察中に冷汗とともに意識混濁、血圧低下出現。末梢循環不全を認めた。呼びかけに対する反応はあるにはあったものの、意識レベルは 1-1 か 1-2 程度で呼吸音は悪くはなかった。末梢循環不全と判断した理由は四肢冷感があり、血圧が 90～80/40 程度に低下し、鼠径にて脈が触れていたものの、橈骨では触れにくかったた

め。モニター管理、急速補液にて意識レベル改善し、夕方にはしっかりしていた。  
念のため経過観察入院となったが、翌日血圧も 130/80 程度であり、退院

因果関係：調査中

#### (症例 100) 動悸、頻脈 (回復)

40代 女性

既往歴：無

経過：本ワクチン接種前1ヵ月以内に季節性インフルエンザワクチン接種したが、特に問題なし。

本ワクチン接種後、胸がつまる感じがあり(脈120~140)、40分程度でおさまった。

因果関係：調査中

#### (症例 101) 気管支喘息発作 (軽快)

50代 女性

既往歴：気管支喘息

経過：ワクチン接種当日夜より熱感等の感冒様症状出現。ワクチン接種2日後、歩けない等の労作時呼吸困難感、起坐呼吸、喘鳴出現。プレドニゾロン内服し、やや軽快。

ワクチン接種6日後、医療機関を受診。顔面紅潮、著明な喘鳴、起坐呼吸を認めた。

体温35.9℃、SpO<sub>2</sub>96%、脈拍96/分。輸液・アミノフィリン及びベタメタゾンを点滴静注。酸素吸入にて症状軽快。

因果関係：因果関係不明

#### (症例 102) 喘息発作 (軽快)

40代 女性

既往歴：喘息(他院にてコントロール、月1回程度の頻度にて入院歴あり)

経過：ワクチン接種2日後、喘息発作あり、救急受診。ステロイド点滴するも改善せず。

ワクチン接種3日後に入院。前回入院時より重い症状。

因果関係：因果関係不明

#### (症例 103) 発熱、インフルエンザ A 型 (調査中)

10歳未満 男性

既往歴：喘息発症から2年。フルチカゾンプロピオン酸エステル、モンテルカストナトリウム内服中。1年間発作はなかった。

経過：ワクチン接種日深夜、38℃の発熱。ワクチン接種翌朝、医療機関受診。咳嗽あり。インフルエンザ簡易検査にて陰性。同日夕方体温40℃に上昇し、傾眠状態、ぐったりして元気なし。インフルエンザ簡易検査にてA型(±)、B型(-)。CRP3.02、白血球9,000。オセルタミビルリン酸塩投与にて軽快中。

因果関係：調査中

専門家の意見：

○五十嵐先生：

ワクチン接種2日後に発熱、気管支喘息発作を発症しています。ワクチン接種が発熱、誘発を起こした可能性は否定できません。ただし、CRP が 3 mg/dl に上昇しており、たまたま感冒の引きはじめにワクチンを接種した可能性あるいはワクチン接種後に感冒に罹患した可能性も否定できません。

○土田先生：

新型インフルエンザワクチン接種から症状出現までの時間的要素からは、発熱とワクチンとの因果関係を否定する理由は見当たりません。接種 2 日目あるいは 3 日目に Flu check A 型陽性であったことや当該ワクチンが不活化ワクチンであることから、臨床的には、ワクチン接種時が既に A 型インフルエンザウイルス自然罹患による潜伏期間であり、発熱は A 型インフルエンザウイルス感染の症状であったと推察できると考えます。

#### (症例 104) 両下肢の筋痛・脱力 (調査中)

70代 男性

既往歴：前立腺癌（ビカルタミド内服治療中）

経過：本ワクチン接種 21 日前、季節性インフルエンザワクチン接種。

本ワクチン接種 3 日後より両下肢の筋肉痛が出現。ワクチン接種 5 日後、両下肢の脱力 (MMT4) が出現し、翌日緊急入院。白血球 11,000、CRP 12.54 mg/dL、クレアチニンキナーゼ 3,003 IU/L、神経伝達検査 NCS では異常認めず、補液にて経過観察中。

因果関係：筋炎として因果関係は否定できない。

専門家の意見：

○中村先生：

筋炎の可能性はあります。筋電図の所見などが必要ですが、添付文書上の全身症状に筋肉痛がありますので否定できないとしました。

○埜中先生：

CK 値が 3003 もあり、横紋筋融解症ないし筋炎の可能性が高い。末梢神経伝道速度は正常であり、GBS の可能性は低い。

○吉野先生：

因果関係否定できないと思います。しかし癌に伴う皮膚筋炎、抗がん剤による横紋筋融解症の可能性も考えられます。

#### (症例 105) けいれん重積 (軽快)

30代 男性

既往歴：頭部外傷による症候性てんかんの既往、身体障害、精神障害があり意志の疎通が困難。嚥下に問題はなく、経口摂取可能であり、リハビリテーション病院に入院中。最近1年半、てんかん症状は認められず、抗てんかん薬の投与無し。

経過：本ワクチン接種6日前、季節性インフルエンザワクチン接種したが、何ら問題なし。本ワクチン接種4時間後、大発作型のてんかん出現。ジアゼパム静注、フェニトイン投与にて消失せず、他院へ搬送。プロボフォールで一旦改善するも、再びけいれん発作が発症し、プロボフォールを投与したところ、呼吸抑制が起こり、挿管。その後は徐々に回復し、本ワクチン投与6日後抜管し、フェニトイン、バルプロ酸にて管理し、リハビリテーション病院に転院。

因果関係：因果関係不明

#### (症例106) 急性呼吸循環不全、発熱、低血糖、肝機能障害、白血球・血小板減少（軽快）

60代 男性

既往歴：統合失調症、慢性うっ血性心不全。嚥下性肺炎の既往あり。

経過：本ワクチン接種14日前、季節性インフルエンザワクチン接種。

本ワクチン接種までは特にバイタル異常無し。本ワクチン接種。本ワクチン接種翌日、早朝に意識レベルの急激な低下、血圧低下、頻呼吸が出現。肺塞栓を疑い、検査したが否定的。血糖値26であり、直ちにブドウ糖を注射し、意識レベル改善、血圧も一旦は正常化。同日、再び血圧低下が出現したため、多量の昇圧剤の持続点滴を開始。本ワクチン接種5日後、血小板3,000/mLまで低下にて血小板輸血を施行。その後、白血球30,000-20,000と著増。本ワクチン接種8日後、白血球12,700まで低下。昇圧剤も不要となり、軽快。

因果関係：調査中

#### (症例107) 喘息発作（不明）

40代 女性

既往歴：喘息

経過：ワクチン接種後、頭痛出現。ワクチン接種翌日、呼吸苦、咳、背部痛など出現。ワクチン接種2日後、喘息発作としてステロイド投与し、徐々に改善。

因果関係：調査中

#### (症例108) 発熱、全身発疹（未回復）

20代 女性

既往歴：左腎細胞癌リンパ節転移（リンゴ酸スニチニブ服用中だが、接種4日前より休薬中。

経過：ワクチン接種3日後、発熱、全身発疹が出現。ワクチン接種5日後、39°Cを超える発熱が持続するため、入院。

因果関係：調査中

**(症例 109) ADEM 疑い (調査中)**

50代 女性

既往歴：無

経過： ワクチン接種5時間後、両手指のしびれが出現。ワクチン接種翌朝、右上肢に痙攣有り。脳神経外科受診

因果関係：副反応としては否定できない。ADEMの可能性あり。

専門家の意見：

○埜中先生：

けいれんはワクチンと関連あるかもしれないので因果関係は否定できない。ADEMは時間的に否定的であるし、画像所見なく情報不足。

○吉野先生：

因果関係否定できないと思います。ADEM疑いです。

**(症例 110) 四肢・躯幹の紫斑 (軽快)**

40代 男性

既往歴：無

経過： ワクチン接種翌日、左下肢の浸潤のある紫斑出現。右下肢、両上肢、体幹（欲に腹部）に拡大し、融合。病理組織にて壊死性血管炎あり。血液一般・生化学・尿検査・凝固能に異常なし。

因果関係：調査中

**(症例 111) けいれん (軽快)**

10歳未満 女性

既往歴：てんかん（強直性痙攣が数分間認められる程度）

経過： ワクチン接種翌日、強直間代性痙攣を反復し、意識障害出現。ジアゼパム坐薬投与するも、この状態が3時間半持続した後、痙攣頓挫（ジアゼパム坐薬投与より、自然経過）。血液検査、インフルエンザ迅速検査、X線検査で異常なし。

因果関係：因果関係不明

専門家の意見：

○五十嵐先生：

12月2日午後1時に接種し、翌日の12月3日午後5時30分に、意識障害を伴う普段より強い強直性間代性けいれんを起こされたてんかんを有する2歳7ヶ月の幼児の方です。前後関係はありますが、因果関係があるかどうかは判断できません。

○土田先生：

新型インフルエンザワクチン接種から症状出現までの時間的要素からは、症状とワクチンとの因果関係を否定する合理的理由は見当たりません。既往にてんかん(型など詳細は不明)があるも

の、今回みられたけいれんは普段のてんかん発作でみられるものとは違うタイプのもの(強直間代性けいれんの反復とその間の意識障害)であることから、臨床的には、何らかの刺激(ワクチン接種もその理由のひとつとして否定できない)により、それらを惹起させたものと推察できるかもしれません。

#### (症例 112) ギランバレー症候群 (調査中)

60代 男性

既往歴：2型糖尿病(インスリン治療中)、心臓バイパス術後、両側下肢動脈閉塞による人工血管バイパス術後にて通院中。

経過： ワクチン接種後、2日間一過性に鼻汁出現。同時期、下肢の違和感を自覚。ワクチン接種15日後、歩行時に右によろけるようになり、同日より歩行困難。ワクチン接種16日後、入院。

因果関係：情報不足(ギランバレー症候群の可能性あり)

専門家の意見：

○岸田先生：

時間的経過および症状の状況からギランバレー症候群の疑いあります。

○中村先生：

右によろけること、歩行困難の原因が不明です。原疾患に糖尿病、バイパス術なども行われており、脳血管障害の可能性もあります。現時点では情報不足で評価不能です。

○埜中先生：

時間的關係、症状からギランバレー症候群の可能性は大です。

#### (症例 113) 肺炎 (軽快)

70代 男性

既往歴：造影剤アレルギー、完全房室ブロック、DDDペースメーカー留置後。

経過： ワクチン接種3日後、嘔気、発熱38.3℃出現。ワクチン接種4日後、医療機関受診。胸部レントゲンにて右上肺に肺炎像あり。他院紹介入院後、抗生剤点滴にて改善。

因果関係：調査中

#### (症例 114) 39℃以上の発熱 (回復)

20代 男性

既往歴：全身性リンパ管腫(胸郭変形あり)拘束性呼吸障害(気管切開、夜間は人工呼吸器BiPAP使用)

経過：本ワクチン接種14日前、季節性インフルエンザワクチンを接種。本ワクチン接種1時間後、40.2℃の発熱出現。呼吸苦あり、入院。本ワクチン接種翌日、解熱。インフルエンザ迅速検査、PCR検査のいずれも陰性。症状は徐々に改善し、本ワクチン接種15日後、退院。

因果関係:調査中

**(症例 115) めまい、耳鳴り、聴力障害 (調査中)**

60代 男性

既往歴: アルコール性肝硬変、糖尿病、高血圧

経過: ワクチン接種2日後、起立時に急激な回轉性めまい出現。その後、嘔吐も出現し、救急搬送及び入院。両側の耳鳴り持続し、左聴力はほぼ消失したため、点滴及び内服加療中。

因果関係:調査中

**(症例 116) 強い不安感 (回復)**

60代 男性

既往歴: 無

経過: 本ワクチン接種と同時に季節性インフルエンザワクチン接種。ワクチン接種1時間後より、強い不安感と軽いふらつきが出現。症状が改善せず。ワクチン接種翌日、症状は改善。

因果関係:調査中

**(症例 117) 薬剤性間質性肺炎 (軽快)**

70代 男性

既往歴: 気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患入院加療中 (フルチカゾン・キシナホ酸サロメテロール合剤2吸入/日)、2型糖尿病 (グルメピリド、ピオグリタゾン、メトホルミン内服)

経過: ワクチン接種2時間後、顔面、手首に蕁麻疹様発疹出現。その後、全身に拡大し、1週間持続。ワクチン接種6日後、全身倦怠、食欲低下のため医療機関を受診。SpO<sub>2</sub> 88%、胸部X線・CTで両肺スリガラス様。間質性肺炎発症にて入院し、ステロイド治療で軽快。

因果関係: 否定できない

**(症例 118) 発熱、肝機能障害 (軽快)**

50代 男性

既往歴: 無

経過: ワクチン接種3日後、39°Cの発熱出現。接種8日後、GOT 168、GPT 220、LDH 679、 $\gamma$ -GTP 360にて医療機関を受診。ウイルス性肝炎の検査所見無し。グリチルリチン酸・グリシン・L-システイン配合剤投与。接種16日後、GOT 28、GPT 42、LDH 179、 $\gamma$ -GTP 186と肝機能障害は軽快。

因果関係: 調査中



**(症例 119) アナフィラキシー疑い (回復)**

50代 女性

既往歴：気管支喘息にて加療中

経過：本ワクチン接種 25 日前、季節性インフルエンザワクチン接種。

本ワクチン接種 10 時間後、動悸、呼吸促迫が出現。本ワクチン接種翌日、喘鳴にてサルブタモール硫酸塩吸入を試みたが、吸気力無く、吸入不能。喘息増悪に対し、プレドニゾロンを投与。同日、症状軽減、回復。

因果関係：調査中

**(症例 120) アナフィラキシー (回復)**

10歳未満 女性

既往歴：気管支喘息（吸入ステロイドにて加療中）

経過：ワクチン接種 15 分後、嘔吐、気分不良が出現。接種 30 分後、単発の咳が出現。血圧は正常、喘鳴無し。臥床、吸入を施行したが気分不良あり。接種 40 分後、補液開始し、経過観察入院。接種 2 時間後、食事摂取可能。接種翌日、回復にて退院。

因果関係：調査中

**(症例 121) けいれん (てんかん発作) (回復)**

80代 男性

既往歴：脳出血後遺症、嚥下性気管支肺炎、症候性てんかん

経過：ワクチン接種 6.5 時間後、てんかん発作出現し、重篤化。治療のため他医療機関に入院。接種 9 日後、回復し、退院。

因果関係：調査中

**(症例 122) 頭痛 (回復)**

40代 女性

既往歴：ギランバレー症候群、喘息

経過：ワクチン接種 1 時間後、激しい頭痛、吐き気が出現。接種 9 日後、自然軽快。

因果関係：調査中

**(症例 123) 心不全 (不明)**

80代 女性

既往歴：糖尿病性腎症、閉塞性動脈硬化症

経過：ワクチン接種後、咳、起坐呼吸が出現。ワクチン接種 3 日後、全身浮腫、呼吸苦による歩行困難、血圧 120/60mmHg、脈拍 90/分、体温 36.1°C、SaO<sub>2</sub>91%にて受診し、心不全と診断され、他院へ緊急搬送。

因果関係：調査中

**(症例 124) 39.0°C以上の発熱（軽快）**

80代 男性

既往歴：うっ血性心不全、腎不全

経過：本ワクチン接種前、季節性インフルエンザワクチン接種。本ワクチン接種翌日、39.9°Cの発熱、意識レベル低下、心電図上伝導障害が出現。スルピリン水和物投与により発熱は回復。意識レベル低下は継続。全血球計算値上昇、C反応性蛋白上昇、腎機能値悪化、無尿となる。フロセミド、補液、ヒドロコルチゾンコハク酸エステルナトリウム、絶食を施行。ワクチン接種2日後、回復。

因果関係：調査中

**(症例 125) アナフィラキシー（回復）**

10歳未満 男性

既往歴：川崎病（冠動脈疾患なし）、目の下の腫れ、アレルギー歴なし

経過：本ワクチン接種36日前、季節性インフルエンザワクチン接種。本ワクチンと季節性インフルエンザワクチン2回目を同時接種。ワクチン接種40分後、咳、顔面紅潮、浮腫が出現。緊急外来受診し、アナフィラキシーにて $\beta$ 刺激薬吸入、エピネフリン皮下注、ヒドロコルチゾン静注を施行し、回復。経過観察のため入院し、翌日退院。

因果関係：調査中

**(症例 126) 心室細動（調査中）**

80代 女性

既往歴：慢性心不全、慢性腎不全、心房細動等にて通院中

経過：本剤投与開始1時間後、自宅にて転倒し、他院へ緊急搬送。

因果関係：調査中

**(症例 127) 腸閉塞（軽快）**

70代 女性

既往歴：慢性腎不全（透析にて通院中）

経過：ワクチン接種2日後、頭痛、嘔気、嘔吐、腹痛が出現。ワクチン接種8日後、腹痛が悪化し、腸閉塞にて入院。その後、頭痛、嘔気、嘔吐、腹痛は回復し、腸閉塞は軽快。数日中に退院予定。

因果関係：調査中

**(症例 128) 全身脱力（不明）**

60代 男性

既往歴：バセドウ氏病

経過：本ワクチン接種1ヶ月前、季節性インフルエンザワクチン接種。本ワクチン接種10分後、著明な脱力感による坐位保持不能、一過性左足先痙攣様症状が出現。血圧140/80mmHg、SpO<sub>2</sub>98%、呼吸状態正常にて経過観察。その後、坐位不能が再出現したため他院へ紹介し、入院。

因果関係：調査中

#### (症例129) 肺炎 (未回復)

90代 女性

既往歴：非結核性抗酸菌症、Ⅱ型糖尿病、高血圧症

経過：本ワクチン接種1ヶ月前、季節性インフルエンザワクチン接種。本ワクチン接種翌日、38℃の発熱にて受診。C反応性蛋白上昇に対し、ガレノキサシンを処方。本ワクチン接種2日後、発熱持続にて再受診。胸部X線右肺炎像、CRP上昇にて入院し、セフトリアキソン投与。

因果関係：調査中

※追加情報等により公表資料から修正あり

## 個別症例の評価にご協力いただく専門家

委員名	所属	専門
新家 眞	国立大学法人 東京大学大学院 医学系研究科 眼科学 教授	眼科
荒川 創一	国立大学法人 神戸大学医学部附属病院 手術部長	泌尿器
五十嵐 隆	国立大学法人 東京大学 医学部 小児科学教室 教授	小児
石河 晃	慶應義塾大学 医学部 准教授	皮膚
岩田 敏	独立行政法人国立病院機構 東京医療センター 統括診療部長	小児
稲松 孝思	東京都老人医療センター感染症科 部長	高齢者
猪熊 茂子	日本赤十字社医療センター アレルギーリウマチ科 リウマチセンター長	膠原病・関節リウマチ
上田 志朗	国立大学法人 千葉大学大学院 薬学研究院医薬品情報学 教授	腎臓
大屋敷 一馬	東京医科大学 主任教授	血液内科
岡部 信彦	国立感染症研究所 感染症情報センター センター長	小児
笠貫 宏	特定非営利活動法人日本医療推進事業団 理事	循環器
岸田 浩	日本医科大学 名誉教授	循環器
久保 恵嗣	国立大学法人 信州大学副学長	呼吸器
小西 敏郎	NTT東日本関東病院 副院長	外科
小林 治	杏林大学医学部 総合医療学 講師	呼吸器・感染症
澤 充	日本大学医学部附属板橋病院 病院長	眼科
田中 靖彦	国立病院機構東京医療センター 名誉院長	眼科
田中 政信	東邦大学医療センター大森病院産婦人科 教授	産科
茅野 眞男	独立行政法人国立病院機構 東京病院 統括診療部 部長	循環器
土田 尚	国立成育医療センター 総合診療部 医師	小児
戸高 浩司	福岡山王病院 循環器内科部長	循環器
永井 英明	独立行政法人国立病院機構 東京病院 呼吸器科 医長	呼吸器
中村 治雅	国立精神・神経センター病院 神経内科 医師	精神・神経
埜中 征哉	国立精神・神経センター病院 名誉院長	精神・神経
藤原 康弘	国立がんセンター中央病院 臨床試験・治療開発部 部長	内科
三橋 直樹	順天堂大学医学部附属静岡病院 産婦人科 副院長・教授	産婦人科
森田 寛	お茶の水女子大学保健管理センター 所長	アレルギー
矢野 哲	国立大学法人 東京大学大学院 医学系研究科産婦人科学 准教授	産婦人科学、生殖生理・内分泌学

委員名	所属	専門
山本 裕康	東京慈恵会医科大学 腎臓高血圧内科	腎臓内科
吉川 裕之	国立大学法人 筑波大学大学院 人間総合科学研究科 教授	産婦人科
吉野 英	吉野内科・神経内科医院 院長	神経内科
与芝 真彰	せんぽ東京高輪病院 病院長	肝臓